



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
上郷町黒田 22-5353

人口 5,828人
男子 2,822人
女子 3,006人
世帯数 1,526戸
(7月末現在)

「掘りおこそう、ふるさと」

熱望されるグランド

昭和五十九年度竜丘公民館事業計画は、四月二十八日の委員総会で決定された。今年度は、これからの社会の動向に対応しつつ伊那谷固有の中でよくまわって来た地域文化の個性と魅力をとれど地域づくりが公民館活動の共通の目標になっている。「ふるさとこそ教材・ふるさと再発見」のキャッチフレーズのもと、住民各自が身近に参加でき楽しめる催しが計画され、実行されている。こうした中で「竜丘にグランドを」という住民の切実な願いを早く実現させたいものだ。

- 事業計画の基本方針は昨年と同様に次の四つになる。
 - ①住民の手による地域づくりの推進。地域や生活に密着した課題を考える。
 - ②学習活動の推進・援助。
 - ③社会体育活動の内容充実と底辺拡大。
 - ④分館活動を重視し、より一層の内容充実を期す。
- 各委員会等の事業計画は次の通りに決定された。
 - 【企画会議】公民館の目標を達成するため、随時開催して活動内容の評価、調整を行う。
 - 【分館長主事会】各分館の連携を深め、相互の内容充実と寄与する場とする。
 - 【文化委員会】婦人団体連絡会と地域づくりを考えるセミナーの充実を重点を置く。(事業)
 - 【文化委員会】ソフトボール大会 (五月十三日) バドミントン、ゲートボール大会 (六月三日) 盆常会野球大会
 - 【体育委員会】地域の社会体育活動の底辺拡大と内容充実を期し、各分館と密接な連携を保つ。特に婦人を中心とした中高年齢層のスポーツ人口拡大に努める。(事業)
 - 【学級・講座等】①新しい学級・講座の開設 ②地域づくりのための学習 ③地域づくりのための学習の展開
- 【民俗資料保存委員会】地域の民俗資料を後世に伝えるための活動を行う。(事業)
 - ・「丘の語り部たち第二集」の整理。
 - ・石仏調査の結果まとめ
 - ・資料館の公開
- 【広報委員会】
 - ・マさんバレーボール大会 (九月九日)
 - ・運動会 (十一月三日)
 - ・卓球大会 (二月十四日)
- 【広報委員会】
 - ①年四回の館報の発行を通じて、地域への広報、広聴活動を行う。
 - ②委員の資質向上のため、研修を行う。
- 【健康問題セミナー】(各分館でテーマ統一)
- 【民俗資料保存委員会】地域の民俗資料を後世に伝えるための活動を行う。(事業)
- 【学級・講座等】
 - ①新しい学級・講座の開設
 - ②地域づくりのための学習
 - ③地域づくりのための学習の展開

青年の主張

高校を卒業して八年、社会人となって六年と、月日のたつのは早いもんだと、つくづく思い返している今日この頃です。

変わっていく自分

桐林 高島 英夫



さてこの六年間をふり返ってみると、スポーツ祭、運動会、雨降りのキャンプ、あがってしまつた文化祭での演劇発表、そして二度の田楽座公演など青年会を通しての思い出が、数多く心に残っています。又そういった活動を行なつてくる中で自分

な青春だからこそ、多くの友達を作り素晴らしい思い出を作らうと、四十五人の仲間が待っています。本年三月の人事異動により刑事部機動捜査隊から飯田警察署竜丘警察官駐在所へ新しく赴任してまいりましたが、前任者の工藤さん同様、よろしくお願い致します。

新任あいさつ

竜丘駐在所 上條 芳明



さて、今年度の公民館費は、昨年と同様二戸当り千二百円となった。また、各分館の目玉行事は次の通り。

「土になるのだ」
上川路 横井 保雄
昔、青年学校の頃、竜丘の学校で江の代表で自分の考えを五分間ほど発表した。それが、発表した事を覚えていた。

暑い夏も終り、鈴虫の鳴き声も涼しげに聞える今日この頃...いかに地方の田園風景といったところである。しかし、このどかな風景も近頃は、開発が進み都市近郊のベットタウン的役割を担っている。当竜丘地区も多分にもれず、百五十一号線パイパス開通を期に、高度成長・土地ブームを背景に開発が進んでいる。さらに高度経済成長により、労働力が農業より農外へ流出し、そのため農地は荒廃し、又これが開発に拍車をかける。

昭和59年度 竜丘公民館委員名簿

| | | | | | |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|
| 館長 | 沢柳 辨治部 | 副館長 | 森 義弘 | 副館長 | 宮沢 聖 |
| 主事 | 渡辺 嘉蔵 | 委員 | 上川路 龍 | 委員 | 橋本 茂 |
| | | 委員 | 笹岡 スミ | 委員 | 今村 晴男 |
| | | 委員 | 笹岡 スミ | 委員 | 遠沢 了子 |

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|--------|
| 文化委員会 | 氏名 | 氏名 | 氏名 | 氏名 |
| 委員長 | 長江 賢二 | 関島 文次 | 岡島 隆司 | 長 明人 |
| 副委員長 | 小林 天生 | 下平 春郎 | 下平 隆司 | 中平 明人 |
| 婦人会 | 佐藤 信子 | 橋爪 常子 | 堀内 隆 | 伊藤 陽治 |
| 青年会 | 林 俊昭 | 下平 常好 | 加藤 直樹 | 時 原 又 |
| | 伊東 秀人 | 矢沢 邦光 | 浜島 美博 | 又 下田 馨 |
| | 下平 文穂 | 小林 邦光 | 岡村 巧 | 牧之内 博 |
| | 林 浩子 | 下平 幸江 | 小本智 俊 | 原 豊司 |
| | 今村 明人 | 宮下 修二 | 林 保彦 | 上川路 勝 |
| | 熊谷 和子 | 元島 幸夫 | 今村 文一 | 岡島 勝 |
| | 熊谷 和子 | 中島 茂代 | 今村 公市 | 橋爪 常子 |
| | 今村 和子 | 山田 勇治 | 小林 正 | 高島 英夫 |
| | 市村 啓三 | 市村 和男 | 宮沢 正隆 | |
| | 山田 勝人 | 堀内 昭義 | 伊藤 恵一 | |
| | 岡村 秀夫 | 下平 賢治 | | |
| | 高島 誠 | 中島武雄 | | |
| | 水上 克美 | 土原 高幸 | | |
| | | 松下 秀保 | | |

「土になるのだ」
上川路 横井 保雄
昔、青年学校の頃、竜丘の学校で江の代表で自分の考えを五分間ほど発表した。それが、発表した事を覚えていた。

「土になるのだ」
上川路 横井 保雄
昔、青年学校の頃、竜丘の学校で江の代表で自分の考えを五分間ほど発表した。それが、発表した事を覚えていた。

暑い夏も終り、鈴虫の鳴き声も涼しげに聞える今日この頃...いかに地方の田園風景といったところである。しかし、このどかな風景も近頃は、開発が進み都市近郊のベットタウン的役割を担っている。当竜丘地区も多分にもれず、百五十一号線パイパス開通を期に、高度成長・土地ブームを背景に開発が進んでいる。さらに高度経済成長により、労働力が農業より農外へ流出し、そのため農地は荒廃し、又これが開発に拍車をかける。

| | | |
|-----|--------|-------|
| 分館長 | 氏名 | 氏名 |
| 科 | 中平 明人 | 牧島 計雄 |
| 長 | 伊藤 陽治 | 今村 正道 |
| 時 | 又 下田 馨 | 小本智 俊 |
| 副 | 堀内 隆 | 牧之内 博 |
| 員 | 原 豊司 | 原 豊司 |
| | 上川路 勝 | 横井 保雄 |
| | 岡島 勝 | 増田 義和 |

| | |
|-------|-------|
| 体育指導員 | 岡島 勝 |
| 婦人会 | 橋爪 常子 |
| 青年会 | 高島 英夫 |

| | | |
|---------|-------|-------|
| 運営審議会委員 | 氏名 | 氏名 |
| 委員 | 木下 美 | 伊藤 真吾 |
| | 田中 美穂 | 今村 秋男 |
| | 田中 興 | 笹岡 秀郎 |
| | 伊原 悦雄 | 下平 恒男 |
| | 原 康次 | 伊東恵美子 |

「土になるのだ」
上川路 横井 保雄
昔、青年学校の頃、竜丘の学校で江の代表で自分の考えを五分間ほど発表した。それが、発表した事を覚えていた。

「土になるのだ」
上川路 横井 保雄
昔、青年学校の頃、竜丘の学校で江の代表で自分の考えを五分間ほど発表した。それが、発表した事を覚えていた。

暑い夏も終り、鈴虫の鳴き声も涼しげに聞える今日この頃...いかに地方の田園風景といったところである。しかし、このどかな風景も近頃は、開発が進み都市近郊のベットタウン的役割を担っている。当竜丘地区も多分にもれず、百五十一号線パイパス開通を期に、高度成長・土地ブームを背景に開発が進んでいる。さらに高度経済成長により、労働力が農業より農外へ流出し、そのため農地は荒廃し、又これが開発に拍車をかける。

生の舞台に拍手喝采

五年ぶりの田楽座公演



歌や踊りに大熱演

ドンドン・小気味良い太鼓の音で幕が上がります。田んぼの中の案山子、十日の小学校体育館での田楽座公演。観客も期待に胸をときめかせて舞台に集中。そんな緊張の糸をほぐすかの様に「かっぱれ」が始まり、その愉快なリズムに思わず笑いがもれ、舞台と観客の一体感が生まれました。続いて有名な狂言「うりぬす人」のコミケイタッチのコントタイム。次に絶滅しかけていたトキの生への希望を描いた「トキ舞」。そして第一部の最後

はミニ芝居「へへへもよし」田んぼの中の案山子、もう米つくりはいらぬからとニコニコ顔にしてしまう内容に今日の農政をダブらせられたので好評だった。第一部と第二部の間は青年会員による「太鼓ばやし」大勢の前で上がってしまおう人もありましたが、前日夜遅くまでの練習の成果が見られ立派に打ち終わり、観客の大拍手を受けました。

第二部では「十三湖の詩」に始まり、津軽農民の苦しみや悲しみ、たくましさを感じさせた「けんりょう節」

「津軽あいや節」「やっこ踊り」等の歌や踊り、津軽三味線の曲弾き等が次々と披露された。息つく間もない大熱演に観客一同拍手喝采の中で幕を閉じました。

公演に向けた青年会

五年ぶりに行なわれた今回の田楽座公演は、青年会主催で行なわれ、青年会員が各家庭を軒一軒訪問し、売券を行ない、当日は約六百人が集まり大盛況でした。青年会では、テレビや映画では味わえない生の舞台を、是非竜丘の人達に味わってもらおうと年度頭初から話し合い、計画を進め、公民館始め各種団体へ呼びかけ、小学生へのチラシ配布や看板づくり、当日の準備にと全員で取り組まれました。やはり一番苦労したのは売券で、仲々売れない人や何枚も売れた人など様々だった様です。しかし取り組む中で会員も増えたり、地域の人達と話しが出来たりと成果も上がり当日体育館一杯に埋まった人達を見て、それ迄の苦労も吹っ飛んだ事でしょう。

大会結果

- 功の内に終わった田楽座公演でしたが、この様な素晴らしい場をつくり上げた青年会に対し、この紙面を借り、地域の人達を代表して感謝すると共に、今後の一層の活躍と発展を期待します。
- 〔夜間バレーボール リーグ戦(前期)〕
- 1位 ナイスミドルズ
 - 2位 上川路
 - 3位 レインボー
 - 4位 ばら
 - 5位 ひまわり
- 〔六月三日 竜丘小グラウンド (男子)〕
- 1位 長野原分館
 - 2位 上川路分館
 - 3位 桐林分館
 - 4位 駄科分館
 - 5位 時又分館
- 〔六月三日 竜丘小グラウンド (女子)〕
- 1位 上川路分館
 - 2位 駄科分館
 - 3位 長野原分館
 - 4位 時又分館
 - 5位 駄科分館
- 〔分館対抗 ソフトボール大会 (五月十三日竜丘小グラウンド) (男子)〕
- 1位 駄科分館
 - 2位 桐林分館
 - 3位 長野原分館
 - 4位 駄科分館
 - 5位 長野原分館
- 〔分館対抗 ソフトボール大会 (五月十三日竜丘小グラウンド) (女子)〕
- 1位 駄科分館
 - 2位 桐林分館
 - 3位 長野原分館
 - 4位 時又分館
 - 5位 時又分館



地に育てて丘の子 学舎に松籟あり

教師生活三十七年めに於いて、はじめて白亜の丘の学舎に勤めさせていただきました。よろしくお願ひします。四月以来、五百四十五名の竜丘の子供達と学ぶことのできる幸せをかみしめる日々であり、目にするもの、耳にするもの全て懐かしいこの頃です。改築のために取り壊された旧体育館は郡下に誇るすばらしい体育館として、私が小学校六年の時に完成し、そこから集立つ第一回卒業生であったことを昨日のことのように思い出します。

竜丘小学校長 伊原真吾

ろっか、あれが小笠原貞宗の鈴間城、念通寺、その向こうが日井原万寿山、こっちは竜丘製糸と指呼の間にある丘の村を眺め、用水大井川、太郎井次郎井を郷土史として勉強した。図書館

地区民各位の暖かいご指導をせつお願いし、ご挨拶と致します。

ハンドルにもやさしさを

去る五月、竜丘交通安全協会(竜丘安協)が、長野県交通安全協会・長野県警察本部より表彰された。これは長年にわたり、当地区の交通安全運動の中心となり活動し、その結果交通事故防止に寄与した事が認められたもの。

竜丘地区では、十年余の間、死亡事故ゼロの記録を更新中で、又、園児・児童の交通事故も近年五年発生していない。これらの成果の陰には、毎月五日の交通安全の日の街頭指導はもちろんのこと、竜丘安協独自の「交通安全母の日」を毎月十日に設け、婦人部による街頭指導が行なわれている。又、年二回、各支部ごとに開かれる一般講習も交通安全の啓発に役立っている。

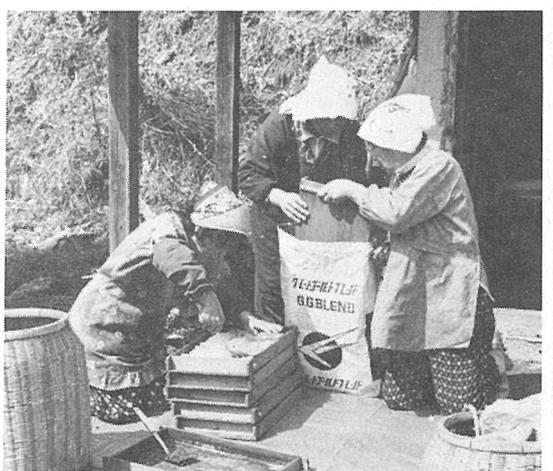


交通事故ゼロを目ざして

今も続くみそ作りの輪

あまにも日常的ですが、しかし、心暖まる風景です。ところで、その味噌、お宅は自家製ですか。

ここ、上川路の金山には、数十年共同で小屋を持ち、毎年四月に味噌づくりをしているグループがあります。昔はこの家でも味噌作りをしたものですが、今では



ふるさとの味、おふくろの味

あの人 この人

- 三月二十日、八月二十日届出分
- ◎永遠に幸あれ
- 高橋 博光 桐林
 - 田中 せつ子 松尾より
 - 日向 文人 佐久町
 - 今村 みつ子 桐林より
 - 船山 泰司 高山市
 - 下平 博恵 駄科より
 - 中島 正秋 桐林
 - 一ノ瀬啓子 毛賀より
 - 林 和彦 時又
 - 水村 浩子 大宮市より
 - 山田 幸一 時又より
 - 牧内 香代子 上川路
 - 渡辺 寛 川上村
 - 今村 香代子 時又より
 - 牧田 孝好 時又
 - 池上 栄子 伊賀良より
 - 伊原 郁夫 毛賀
 - 窪田 広子 上川路より
 - 中田 博 桐林
 - 原 恵 伊那市より
 - 今村 正雄 上川路
 - 太田 和子 長野市より
- ◎伸びよ健やかに (氏名)(組合)(父母)
- 尾曾 久美子 時茂
 - 熊谷 圭介 長正敏
 - 関島 佳彦 駄隆夫
 - 橋爪 裕子 時一廣
 - 下平 春男 時辰雄
 - 久保田秋一 駄科
 - 横田貴美子 上飯田より
 - 吉川 俊文 桐林より
 - 深見 恵子 時又
 - 塚平 俊和 上川路
 - 松本 宏子 伊那市より
 - 中島 勝 桐林
 - 小泉 郁恵 諏訪市より
 - 岡村 重夫 桐林
 - 小池 みよ子 松尾より
 - 伊藤 公夫 時又
 - 多田のり子 喬木村より
 - 小山 廣行 長野原
 - 長尾ふみ子 東新町より
 - 山上 剛 喬木村
 - 小林 恭子 駄科より
 - 小林 敏光 時又
 - 坪井由美子 東京都より
 - 吉川 太一
 - 久保田 貞恵
 - 関島 卯辰
 - 小室 一二
 - 岡島 満行
 - 伊藤 ちほ
 - 久保田 義明
 - 窪田 幾男
- ◎御冥福を祈る
- 小笠原 たろ 駄
 - 伊原 民蔵 時
 - 塩沢 盛太郎 長
 - 下井田徳治郎 長
 - 下平 たけゑ 桐
 - 岡村 賢作 桐
 - 今村 操 桐
 - 狩野 秋子 桐
 - 中島 ひとみ 桐
 - 吉川 太一 駄
 - 久保田 貞恵 時
 - 関島 卯辰 時
 - 小室 一二 時
 - 岡島 満行 時
 - 伊藤 ちほ 時
 - 久保田 義明 時
 - 窪田 幾男 時

- 佐々木 敦子 桐政臣
- 近藤 創 桐孝
- 熊谷 詩織 時久幸
- 村上 昭義 駄則夫
- 池之側 美香 時重義
- 桜井 梓 時隆治
- 三浦 香織 時虎夫
- 塩沢 つかさ 時達郎
- 塩沢 つかさ 時益佳
- 下平 聖美 時文治
- 佐々木 康貴 上正和
- 井口 多恵 上泰彦
- 宮川 寛之 長正夫
- 窪田 美香 上正夫
- 林 雅彦 桐保彦
- 林 英則 駄広幸
- 村松 正美 駄克己
- 岩間 晶子 時清治
- 中島 裕太 桐正
- 羽生 美夏 駄守
- 下平 好子 駄雅好
- 梅本 麻衣 駄貴之
- 宮野 祐央 駄好則
- 田子 好孝 駄則夫
- 下平 傑 駄繁克
- 木下 真衣 駄敏男
- 和田井 慎吾 時善治
- 今村 涼子 長善治
- 下平 佑一 桐善治
- 佐合 今日子 時純一
- 池戸 梓 時章彦
- 佐藤 芳枝 長隆夫
- 代田 樹末 時一博
- 沖田 木肖 時操
- 酒井 恒夫 駄清司
- 沢柳 慎太郎 駄隆
- 原 あかね 時寿宣
- 久保田 大樹 時敬二
- 浜島 里佳 駄弘和
- 木下 典子 時幸彦